



遊楽部川のほとりに移転！ 国の子保育園 落成式

11月19日、遊楽部川のほとり（栄町）に移転新築した国の子保育園の落成式が行われました。国の子保育園は、昭和29年に、八雲地域で初の保育園として創立され、現在まで、約1,650名の園児が卒園しました。落成式では年長組18人が、建設に係わった関係者たちに手作りのメダルをお礼として贈りました。園舎は木材を基調とした造りで、化粧板には町内の道南杉も使われており、園児たちは「おうちみたい」と木の香りがする新しい園舎を探検して楽しみました。



日ハムナインの普段の素顔は！ 図書館フェスティバル講演会

11月29日（日）、図書館で、北海道新聞社スポーツ記者の須貝剛さんによる「日ハムナインの素顔」と題して講演会が行われました。取材を通じて、監督・選手の人柄や隠れたエピソードなども交え、「栗山監督の『選手のミスを責めない』指導が若い選手を育てている」「中田選手の球場では見られない気さくな一面」が紹介されるなど、日ハムファンにとって普段報道されないような貴重なお話を聴くことができました。参加者からは「大谷選手はこれからも二刀流を続けるのか」「来年は近藤選手を捕手として起用しては？」などの質問が出され、来季こそ「日本一になってほしい」ムード一色の講演会となりました。



泣いて、笑って、歌ってハッピー！ 開町10年記念 全町女性研修会

12月13日、公民館でオフィスうたことば代表で元消防士の石川達之さんによる講演会が開催されました。石川さんは、自分の家族がうつになったときの看病や、仕事で辛い思いをしたときの体験など、自作のフォークソングを交え講演を行いました。講演では、笑いでのストレス発散法とともに人への接し方も語り、「怒る時は、あなたは〇〇だからだめではなく、私は〇〇だから悲しい」「あなたは大事な存在である」「ありがとう」など、気持ちを口に出し、相手に伝えることが幸せのコミュニケーションとして大切であると訴えました。



掛け声かけて杵つき餅つき！ 相沼小学校もちつき大会

12月13日、相沼小学校（児童21名）で、「もちつき大会」が行われ、全校児童と保護者、地域の住民ら約50人が実りの喜びを一緒にかみしめました。同校では毎年、町内農家の近藤久雄さんの指導のもと、田植えから稲刈りまでの農業体験学習を行っています。保護者らが蒸しあがったもち米を次々に臼に運ぶと、児童たちは重い杵にバランスを崩しそうになりながらも「よいしょ、よいしょ」と威勢のいい掛け声とともに、餅をつきあげ、丸めた餅をみんなで一緒においしく頂きました。

